

建設業団体ら11者

CIM普及へ 技術検討会

日本建設情報総合センター（JACCIC）など国土交通省所管法人や、ゼネコン、建設コンサルタントなどの業界団体が集まり、土木構造物の企画から設計、積算、施工、維持管理まで一連の作業を一体的に捉えて建設生産システムの効率化や品質向上を目指す「コンストラクション・インフォメーション・モデリング（CIM）技術検討会」を立ち上げた。今月下旬に技術開発項目などを検討する二つのワーキンググループ（WG）を設置。今秋にCIMの具体的なイメージを固める。

■2面に関連記事

今秋にイメージ明確化

CIMは、建築分野で導入が進むビルディング・インフォメーション・モデリング（BIM）の土木版。建設生産システム全体（企画、調査、計画、設計、積算、施工、監督、検査、維持管理、サービス提供）を一体的に捉え、土木構造物を電子モデル化した3次元オブジェクトを活用。一連の過程の関

連情報を統合・融合して建設の工程（管理も含む）全体を改善する新しい建設管理システムだ。CIM技術検討会には、▽JACCIC事務局▽先端建設技術センター▽日本建設機械施工協会施工技術総合研究所▽建物価値調査会▽経済調査会▽国土技術研究センター▽日本建設業連合会

（日建連）▽全国建設業協会（全建）▽建設コンサルタンツ協会（建コン協）▽全国測量設計業協会連合会（全測連）▽全国地質調査業協会連合会（全地連）の11者とオプザバーとして国土省が参加。今月4日に初会合が開かれた。今月下旬に「基本問題／データモデル／属性」と「計測技術／情報化施工」の2WGを設置。CIMの実用化に向けた技術面の検討を進める。

基本問題／データモデル／属性WGは、CIMの具体的なイメージ（先導的モデル事業と一般モデル事業）を明確化し、導入効果や設計・施工・維持管理に関する技術開発の方向性、実用化に向けた人材育成方針、試行事業のサポート体制などを検討。計測技術／情報化施工WGは、測量、地

質調査技術開発の方向性や情報化施工のデータ連携技術などの検討を担当する。8月下旬～9月上旬に開く両WGの2回目の会

合の内容を参考に、9月下旬～10月上旬に開催予定の技術検討会でCIMの具体的なイメージを明確化。12年度試行工事で実施する内容をまとめる。

具体的なイメージのうち、先導的モデル事業では企画から維持管理までの効率化を見据えてデータをフル活用し、一般モデル事業は一部データな

建設工業新聞

【建設ICT】

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 |
| 4. 読売 | 5. 岐阜 | 6. 中伊 |
| 7. 産経 | 8. 静岡 | 9. 伊勢 |
| 10. 中部経済 | 11. 建通 | 12. 日刊工業 |
| 13. 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海 |
| 16. 建設工業 | | |

平成24年11月10日（朝）・夕）P /